

殺虫剤
マラソン乳剤

サンケイ マラソン[®]乳剤

農林水産省登録 第2532号
性状：黄褐色可乳化液体
毒性：普通物（毒物及び劇物に該当しないものを指している通称）
危険物：第四類第二石油類
有効年限：4年
包装：500mℓ×20

有効成分：マラソン（化管法第1種）・・・・・・50.0%

殺虫剤分類 1B

マラソン[®]は住友化学（株）の登録商標です。

特長
○広範囲の害虫に効果のある有機リン系殺虫剤で、果樹や野菜のハマキムシ類、アブラムシ類、アザミウマ類、ウリハムシ、カブラハバチやカメムシ類等に効果があります。

適用病害虫名及び使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	10アール 当り 使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	マラソンを 含む農薬の 総使用回数
かんきつ (なつみかん を除く)	ハダニ類 アブラムシ類	1000～ 3000倍	200～ 700ℓ	収穫14日前 まで	5回以内	散布	5回以内
	カイガラムシ類 ハマキムシ類 ヤノネカイガラムシ若齢 幼虫 アオバハゴロモ	1000～ 2000倍					
りんご	ハダニ類 リンゴワタムシ アブラムシ類	1000～ 3000倍	200～ 700ℓ	収穫14日前 まで	5回以内	散布	5回以内 (休眠期から 芽出直後まで は1回以内)
	ナシヒメシンクイ ハマキムシ類 カイガラムシ類	1000～ 2000倍					
	モモシンクイガ	1000倍					
なし	ハダニ類 アブラムシ類	1000～ 3000倍	200～ 700ℓ	収穫14日前 まで	5回以内	散布	5回以内 (休眠期は 1回以内)
	ナシヒメシンクイ ハマキムシ類 カイガラムシ類	1000～ 2000倍					
もも	ハダニ類 アブラムシ類	1000～ 3000倍	200～ 700ℓ	収穫7日前 まで	5回以内	散布	5回以内
	ナシヒメシンクイ カイガラムシ類	1000～ 2000倍					
	モモシンクイガ	1000倍					
ぶどう	ハダニ類 アブラムシ類	1000～ 3000倍	200～ 700ℓ	収穫7日前 まで	6回以内	散布	6回以内
	ハマキムシ類 カイガラムシ類	1000～ 2000倍					
	キンケクチブト ゾウムシ成虫	1000倍					

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	10アール 当り 使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	馬拉ソンを 含む農薬の 総使用回数
かき	ハマキムシ類 カイガラムシ類	1000～ 2000倍	200～ 700ℓ	収穫30日前 まで	4回以内	散布	4回以内
	イラガ類	1000～ 3000倍					
おうとう	ハマキムシ類	1000～ 2000倍	200～ 700ℓ	収穫7日前 まで	5回以内	散布	5回以内 (休眠期の 50倍希釈散布 は1回以内)
	ハダニ類 アブラムシ類	1000～ 3000倍					
うめ	アブラムシ類	1000～ 3000倍	200～ 700ℓ	収穫7日前 まで	5回以内	散布	5回以内
	ハマキムシ類 カイガラムシ類	1000～ 2000倍					
びわ	アブラムシ類	2000～ 3000倍	200～ 700ℓ	収穫7日前 まで	5回以内	散布	5回以内
	ビワキジラミ	2000倍					
稲	ウンカ類 ツマグロヨコバイ	2000倍	60～ 150ℓ	収穫7日前 まで	5回以内	散布	5回以内
だいず、 えんどうまめ、 あずき	ハダニ類 アブラムシ類 アザミウマ類 コガネムシ類	1000～ 3000倍	100～ 300ℓ	収穫7日前 まで	3回以内	散布	3回以内
	マメシンクイガ ハモグリバエ類	1000倍					
いんげんまめ	ハダニ類 アブラムシ類 アザミウマ類 コガネムシ類	1000～ 3000倍	100～ 300ℓ	収穫7日前 まで	3回以内	散布	3回以内
	マメシンクイガ ハモグリバエ類	1000倍					
	インゲンテントウ	1000～ 2000倍					
豆類 (未成熟)	ハダニ類 アブラムシ類 アザミウマ類 コガネムシ類	1000～ 3000倍	100～ 300ℓ	収穫7日前 まで	3回以内	散布	3回以内
	ハモグリバエ類 マメシンクイガ カメムシ類	1000倍					
	インゲンテントウ	1000～ 2000倍					
きゅうり	ハダニ類 アブラムシ類	1000～ 3000倍	100～ 300ℓ	収穫前日 まで	3回以内	散布	3回以内
	ウリハムシ	1000倍					
すいか	ハダニ類 アブラムシ類	1000～ 3000倍	100～ 300ℓ	収穫前日 まで	6回以内	散布	6回以内
	ウリハムシ	1000倍					

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	10アール 当り 使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	マラソンを 含む農薬の 総使用回数
メロン	ハダニ類 アブラムシ類	1000～ 3000倍	100～ 300ℓ	収穫前日 まで	3回以内	散布	3回以内
	ウリハムシ	1000倍					
かぼちゃ	ハダニ類 アブラムシ類	1000～ 3000倍	100～ 300ℓ	収穫前日 まで	5回以内	散布	5回以内
	ウリハムシ	1000倍					
うり類 (漬物用)	ハダニ類 アブラムシ類	1000～ 3000倍	100～ 300ℓ	収穫前日 まで	3回以内	散布	3回以内
	ウリハムシ	1000倍					
にがうり	アブラムシ類	1000倍	100～ 300ℓ	収穫前日 まで	3回以内	散布	3回以内
トマト	ハダニ類 アブラムシ類	2000～ 3000倍	100～ 300ℓ	収穫前日 まで	5回以内	散布	5回以内
なす	ハダニ類 アブラムシ類	2000～ 3000倍	100～ 300ℓ	収穫前日 まで	6回以内	散布	6回以内
ピーマン	ハダニ類 アブラムシ類	2000～ 3000倍	100～ 300ℓ	収穫前日 まで	5回以内	散布	5回以内
キャベツ	アブラムシ類 アザミウマ類	1000～ 3000倍	100～ 300ℓ	収穫前日 まで	5回以内	散布	5回以内
	カブラハバチ アオムシ	1000倍					
カリフラワー	アブラムシ類 アザミウマ類	1000～ 3000倍	100～ 300ℓ	収穫3日前 まで	5回以内	散布	5回以内
	カブラハバチ アオムシ	1000倍					
ブロッコリー	アブラムシ類 アザミウマ類	1000～ 3000倍	100～ 300ℓ	収穫3日前 まで	5回以内	散布	5回以内
	カブラハバチ アオムシ	1000倍					
はくさい	アブラムシ類 アザミウマ類	1000～ 3000倍	100～ 300ℓ	収穫前日 まで	5回以内	散布	5回以内
	カブラハバチ アオムシ	1000倍					
だいこん	アブラムシ類	1000～ 3000倍	100～ 300ℓ	収穫14日前 まで	6回以内	散布	6回以内
	ナモグリバエ カブラハバチ アオムシ	1000倍					
かぶ	アブラムシ類	1000～ 3000倍	100～ 300ℓ	収穫14日前 まで	4回以内	散布	4回以内
	ナモグリバエ カブラハバチ アオムシ	1000倍					

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	10アール 当り 使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	マラソンを 含む農薬の 総使用回数
いちご	ハダニ類 アブラムシ類	2000～ 3000倍	100～ 300ℓ	収穫3日前 まで	5回以内	散布	5回以内
	ミカンキイロアザミウマ	2000倍					
ねぎ	アブラムシ類 アザミウマ類	1000～ 3000倍	100～ 300ℓ	収穫7日前 まで	6回以内	散布	6回以内
	ネギハモグリバエ	1000倍					
たまねぎ	アブラムシ類 アザミウマ類	1000～ 3000倍	100～ 300ℓ	収穫7日前 まで	6回以内	散布	6回以内
	ハモグリバエ類	1000倍					
にんじん	アブラムシ類 キアゲハ ヤサイゾウムシ	2000～ 3000倍	100～ 300ℓ	収穫14日前 まで	4回以内	散布	4回以内
ごぼう	アブラムシ類	2000～ 3000倍	100～ 300ℓ	収穫7日前 まで	5回以内	散布	5回以内
ほうれんそう	アブラムシ類	2000～ 3000倍	100～ 300ℓ	収穫14日前 まで	4回以内	散布	4回以内
レタス	アブラムシ類	2000～ 3000倍	100～ 300ℓ	収穫3日前 まで	5回以内	散布	5回以内
あしたば	ウドノメイガ	1000倍	100～ 300ℓ	収穫7日前 まで	3回以内	散布	3回以内
食用ぎく	アブラムシ類	2000倍	100～ 300ℓ	収穫3日前 まで	2回以内	散布	2回以内
よもぎ	アブラムシ類	2000倍	100～ 300ℓ	収穫7日前 まで	1回	散布	1回
花き類・ 観葉植物	ハダニ類 アブラムシ類	2000～ 3000倍	100～ 300ℓ	発生初期	6回以内	散布	6回以内
きく	ヨトウムシ類	2000～ 3000倍	100～ 300ℓ	発生初期	6回以内	散布	6回以内
サルビア	オンブバッタ	2000～ 3000倍	100～ 300ℓ	発生初期	6回以内	散布	6回以内
マリーゴールド	ハモグリバエ類	2000～ 3000倍	100～ 300ℓ	発生初期	6回以内	散布	6回以内
たばこ	アブラムシ類 ヤサイゾウムシ	1000倍	25～ 180ℓ	収穫10日前 まで	2回以内	散布	2回以内

作物名	適用場所	適用病害虫名	希釈倍数	10アール 当り 使用液量	本剤の 使用回数	使用方法	マラソンを 含む農薬の 総使用回数
ミバエ類が 加害する農作物	ミバエ類発生地域に おける圃場周辺の藪地	ミバエ類	800～ 1000倍	20ℓ	8回以内	蛋白加水分解物 に加用して散布 する。	8回以内

使用上の注意事項

- 本剤は人間や家畜についたノミ、シラミ、ダニ等を殺すために使わないようにしてください。
- 石灰硫黄合剤、ボルドー液等アルカリ性薬剤との混用はさけてください。
- ミカンキイロアザミウマの防除に使用する場合、多発生時には効果が劣ることがあるので、初発生をみたら直ちに散布してください。
- 本剤をミバエ類防除で地上散布する場合、所定の蛋白加水分解物希釈液に本剤を800～1000倍となるように加用して散布してください。なお、使用に当っては混用する蛋白加水分解物の適用及び注意事項を厳守してください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にかからないようにしてください。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
 - ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにしてください。
 - 受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさけてください。
 - 養蜂が行われている地区では都道府県の畜産部局と連絡し、ミツバチの危害防止に努めてください。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、普及指導センター、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

安全使用上の注意事項

- 誤飲などのないように注意してください。
- 本剤の解毒剤としては、硫酸アトロピン製剤及びPAM製剤の投与が有効であると報告されています。
- 原液は眼に対して刺激性があるので、散布液調製時には保護眼鏡を着用して薬剤が眼に入らないように注意してください。
- 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないように注意してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。

水産動植物に係る注意事項

- 水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 散布後は水管理に注意してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具および容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

保管に関する注意事項

- 火気をさけ、直射日光が当たらない低温な場所に密栓して保管してください。